

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年9月5日(2024.9.5)

【国際公開番号】WO2024/069795

【出願番号】特願2022-574438(P2022-574438)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/56(2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/56

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年12月15日(2022.12.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

20

スクリューを骨にねじ込むことができる筒状のドライバーと、前記ドライバーに挿入されることができる内筒と、前記内筒に挿入されることができるガイドピンとを含む治療器具であって、

前記スクリューは、外壁に骨をタッピングすることができるねじ山と、中心軸に沿って頭部から先端まで前記内筒を通すことができる貫通孔とを有し、

前記ドライバーは、前記中心軸に沿って移動させることによって前記スクリューの頭部に嵌まって前記スクリューと連結することができ、前記中心軸の周りを回る回転方向の力を前記スクリューに伝達することができるように構成され、

前記内筒は、前記ドライバーが前記スクリューと連結された状態で、前記ドライバーの遠位端から挿入され当該遠位端で前記ドライバーと接続可能であり、前記ドライバーと接続された状態で前記先端部がスクリューの先端よりも近位側に突出し、

30

前記内筒は、前記スクリューと前記ドライバーが連結された状態で、前記ドライバーの遠位端から前記ドライバーと前記スクリューの貫通孔を貫通して挿入されて、前記スクリューの先端よりも近位側に突出する先端部を有し、

前記内筒は、前記先端部が前記スクリューの先端よりも近位側に突出した状態で、前記ガイドピンが挿入されることにより、前記スクリューと接続される、

治療器具。

【請求項2】

請求項1において、

前記内筒の近位端は、前記中心軸に沿った方向に複数の舌片に分割され、前記複数の舌片のそれぞれは、前記中心軸から離れる方向に凸部を有し、

40

前記内筒は、連結されたドライバーとスクリューに挿入されるときに、前記舌片が前記中心軸側に撓んで、当該ドライバーと当該スクリューの貫通孔内を前記中心軸方向に移動することができる、

前記内筒が、連結されたドライバーとスクリューに挿入され、当該ドライバーと遠位端で接続されたときに、前記ガイドピンが当該内筒に挿入されることにより、前記複数の舌片が前記中心軸方向に撓まないように規制され、前記凸部を前記スクリューの先端部に接触させて、前記内筒が前記中心軸に沿って前記スクリューの貫通孔方向に戻る動きが規制される、

治療器具。

50

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、
前記内筒は、前記先端部の外周面にタッピングすることができるねじ山を備える、
治療器具。

【請求項 4】

請求項 1 において、
前記スクリューのねじ山の外径は、遠位側ほど大きく、近位側ほど小さい、
治療器具。

【請求項 5】

請求項 1 において、
前記スクリューのねじ山の条数は、遠位側ほど多く、近位側ほど少ない、
治療器具。

10

【請求項 6】

請求項 1 において、
前記スクリューのねじ山の外径は、遠位側ほど大きく、近位側ほど小さく、
前記スクリューのねじ山の条数は、遠位側ほど多く、近位側ほど少ない、
治療器具。

【請求項 7】

ねじ込まれるときに外壁に骨をタッピングすることができるねじ山と中心軸に沿って頭部から近位端まで貫通する貫通孔とを備えるスクリューであって、
前記貫通孔は、先端にバルーンを有するカニューレを、前記バルーンが近位端から突出するまで通すことができ、
前記近位端が鈍であり、
前記ねじ山の外径は、遠位側ほど大きく、近位側ほど小さい、
スクリュー。

20

【請求項 8】

ねじ込まれるときに外壁に骨をタッピングすることができるねじ山と中心軸に沿って頭部から近位端まで貫通する貫通孔とを備えるスクリューであって、
前記貫通孔は、先端にバルーンを有するカニューレを、前記バルーンが近位端から突出するまで通すことができ、
前記近位端が鈍であり、
前記ねじ山の条数は、遠位側ほど多く、近位側ほど少ない、
スクリュー。

30

【請求項 9】

ねじ込まれるときに外壁に骨をタッピングすることができるねじ山と中心軸に沿って頭部から近位端まで貫通する貫通孔とを備えるスクリューであって、
前記貫通孔は、先端にバルーンを有するカニューレを、前記バルーンが近位端から突出するまで通すことができ、
前記近位端が鈍であり、
前記ねじ山の外径は、遠位側ほど大きく、近位側ほど小さく、
前記ねじ山の条数は、遠位側ほど多く、近位側ほど少ない、
スクリュー。

40

50